



10月15日(木)第922回

講師:三上 忠男 氏
(一社)倫理研究所 法人アドバイザー
(有)アド・ミカミ 代表取締役
テーマ:「本能と理性」

草加市倫理法人会 モーニングセミナー報告(10月)

(会場) 埼玉屋旅館

草加市高砂1-10-13 048-922-4141



宮澤 良一 記

人には「本能」があり様々な欲があるが、本能のみでは動物と同じである。人には「理性」があり、これが倫理であり、教育であり、これによって人間となる。本能はアクセルであり、理性はブレーキである。280年前、曹洞宗の白隠禪師世を訪ねて、極楽と地獄を説けと迫った。武士をわざと怒らせ、斬られる寸前に「それが地獄」と喝破し、刀を納めると「それが極楽」と説いた。人には地獄と極楽が同居しているのである。すべて対立の原理で向かい合っている。太陽と月、昼と夜、夫婦、親子、明暗、遅速、プラスマイナス、また、社長と社員も同様であり、対立すれば闘争を生み、合一すれば生成発展に向うのである。近年、家族団欒の時も少なくなっています。絆を深め、生成発展する方向へ向かってください。



10月1日(木)第920回

講師:菊池 義明 氏
草加市倫理法人会 会長
(株)菊池襪紙工場 代表取締役
テーマ:「ふすまとともに」

襪は平安後期に発生し、鎌倉時代に絢爛な襪が完成した我が国独自の文化です。それ以前の建物には壁というものがなく、衝立や板戸で仕切っていました。襪には「木版刷り」「洪紙刷り」「金銀砂子」といった種類があり、和紙に柄を付け装飾するのが当社の仕事となります。現在では多くの襪紙を印刷で行っています。また、当社には砂子師がおり、礬砂をひいた和紙に金銀の箔や砂子で表現した、襪紙製作も行います。日本人の和室ばなれをこの先も止めることは出来ないでしょう。しかしながら「仕切り」という概念で、縁側を通して外と繋げているという日本独自の文化を、柔軟にスタイルを変化させながら守り育てていきます。

宮澤 良一 記



10月22日(木)第923回

講師:鈴木 一行 氏
(福)草加市社会福祉協議会 常任理事
テーマ:「福祉から見た将来」



①社会福祉の変容と課題
以前の社会福祉は貧困の救済など一部の人を対象としたが、介護保険制度が整い、これからは国民の権利であり健全で安定した生活を維持する社会インフラである。少子高齢化問題として、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、前期高齢者数を上回り社会保障費の増大、介護難民増加が懸念され、日本にとって危機的状況となる。

②高齢者の貧困問題
熟年離婚、孤立、子の扶養などから普通から下流の生活になる。六十五歳から八十五歳までにかかる生活費は七千五百万円の試算である。

③今からこれからの備え
行政の課題として新しい財源確保、社会保障制度の構築、地域資源の活用などがある。私たちの課題はお金がなくとも楽しく生きる、(自助)健康管理、生きがいを見出す。病気になるっても病人にならない。(共助)孤立しない、仲間作り、家族友達を大切に。困った時は公共の相談所を利用して下さい。 遠藤 広伸 記



10月8日(木)第921回

講師:丸本 敏文 氏
(一社)倫理研究所
首都圏方面 副方面長
テーマ:「倫理の自由境」

ある運送会社の社長が倫理指導を受け、親への連絡、手紙を書く事、奥さんへの愛情の表現「さん」づけでの挨拶を指導され、その挨拶から広がり、人だけでなく物にも感謝し、挨拶するようになった。従業員が大きな事故を起こしてしまっただが、小指の軽い怪我だけで済んだ。彼はトラックに名前を付け、毎日感謝し、挨拶をしていたためである。自由とは、ただ素直な心に変える事である。キーワードは①受け入れる②決心する、である。自分が倫理研究所に入所する時、苦手なレポートを書けず、また、現在の勤務先の親方になかなか辞める事を言い出せなかった。局長に相談すると「それは決心がないからだ」と指導された。その後、決心をし、親方に辞める事を告げた。親方は気持ちよく「お前の人生だから、お前の思う通りにやって来い」と送り出してくれた。

遠藤 広伸 記



10月29日(木)第924回

講師:小出 操 氏
本庄市倫理法人会 会長
(株)どりーむ 代表取締役
テーマ:「笑顔で介護」



岡部町(現在深谷市)で生まれ、七歳で東京へ転居。海外勤務を夢見て富士銀行(みずほ銀行)外為部に勤務するも、母が認知症(ピック病)を患い家族で介護にあたり、大変な思いをしました。病状が進み、在宅介護が困難となり特別養護老人ホームに入所。多くの経験をしたことから介護の道を選択し、平成十八年にデイサービス(株)どりーむを設立。現在四つの施設を開設しています。自分の介護経験から固定概念に囚われずに、一人一人に合わせ、笑顔と優しさを忘れず、八十五名のスタッフと共に働いています。おかげで全国商工会議所「女性起業家大賞」グロース部門(創業五〜十年)で優秀賞を頂きました。大切な家族が相次いで亡くなり、哀しい事が多くありましたが、笑顔忘れず大好きな歌を唄いながらこれからも頑張っていきます。

遠藤 広伸 記